



# 九州財務局の地域連携事例集 (令和2年度)

令和3年6月  
財務省九州財務局

☆全国財務局の地域連携事例はホームページでもご覧いただけます☆  
地域連携事例集トップページ

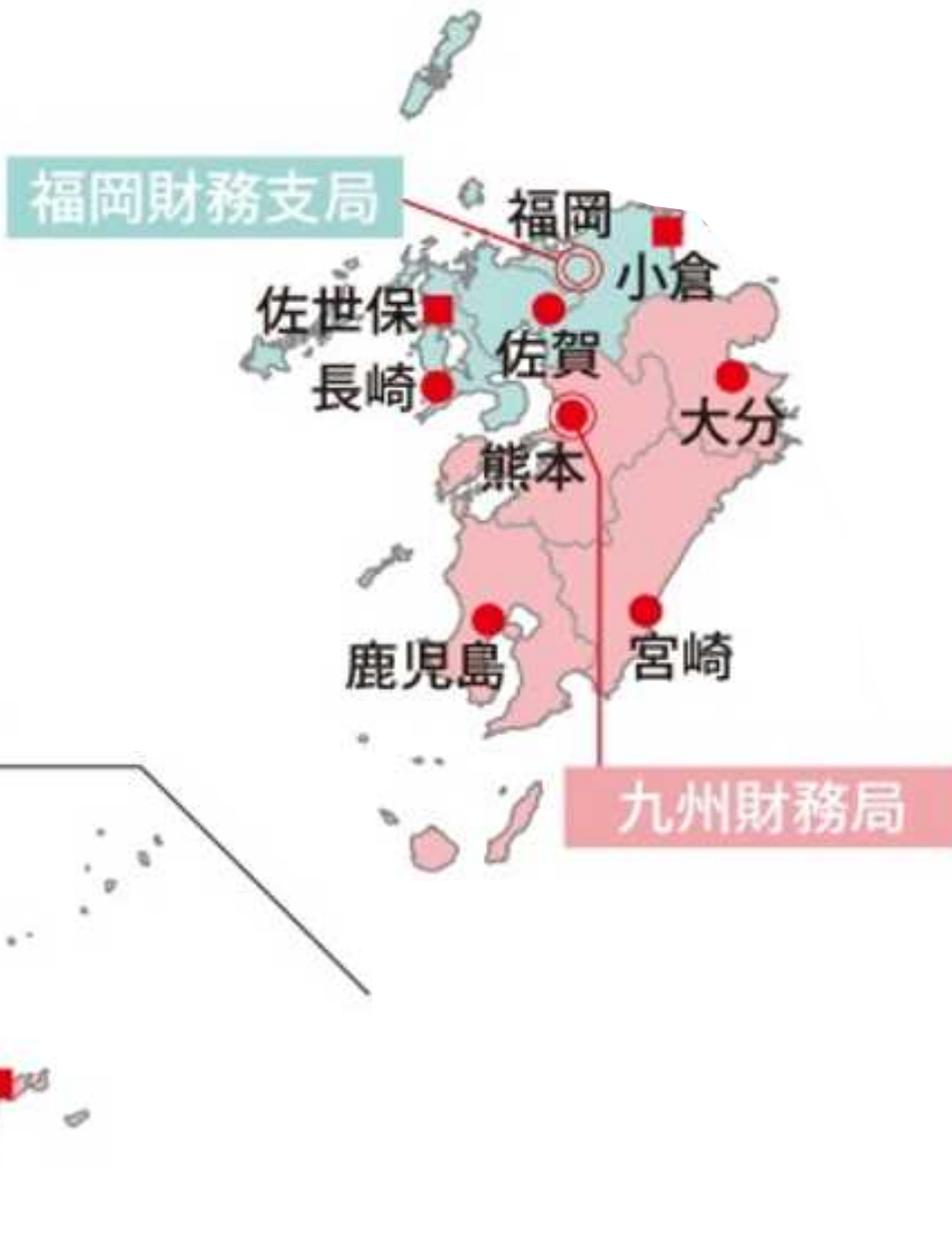
[https://www.mof.go.jp/about\\_mof/zaimu/renkei/index.htm](https://www.mof.go.jp/about_mof/zaimu/renkei/index.htm)



# 目次

目次	局・所	頁
<b>九州財務局について</b>		
九州財務局管内案内図		1
財務局の業務		2
<b>九州財務局の地域連携事例</b>		
令和2年7月豪雨への対応	本局	3
副業・兼業セミナーを開催【大分(2020.12.1)・鹿児島(2020.12.15)】	大分・鹿児島	4
地方公共団体と合同勉強会を開催	宮崎	5
ケーブルテレビを活用したコロナ禍における広報の取組み	本局	6
コロナ禍におけるつなぎ役としての地域課題への対応	本局・大分	7

# 九州財務局管内案内図



## 九州財務局の管轄区域 (都道府県)

九州南部地区 (熊本、大分、宮崎、鹿児島)

局・所	住所	電話番号
九州財務局	〒860-8585 熊本市西区春日2-10-1 (熊本地方合同庁舎)	096- 353-6351
大分財務事務所	〒870-0016 大分市新川町2-1-36 (大分合同庁舎)	097- 532-7107
宮崎財務事務所	〒880-0805 宮崎市橘通東3-1-22 (宮崎合同庁舎)	0985- 22-7101
鹿児島財務事務所	〒892-0816 鹿児島市山下町13-21 (鹿児島合同庁舎)	099- 226-6155
名瀬出張所	〒894-0036 奄美市名瀬長浜町1-1 (名瀬合同庁舎)	0997- 52-0728

# 財務局の業務

## 1. 財 政

- (1) 適正かつ効率的な予算執行の確保(予算執行調査等)
- (2) 災害復旧事業の査定立会
- (3) 地方公共団体への財政融資資金の貸付

## 2. 国有財産

- (1) 国有財産の効率的な使用のための総合調整
- (2) 地域や社会のニーズに対応した国有財産の有効活用
- (3) 国有財産を通じた災害対応・防災対応

## 3. 金 融

- (1) 地域金融機関等の検査・監督
- (2) 中小企業金融の円滑化に向けた取組
- (3) 金融商品取引等の監視

## 4. 経済調査

- (1) 地域経済情勢等の調査
- (2) 地域の意見・要望を本省庁に伝達

## 5. 広報相談

- (1) 財務省及び金融庁の重要施策等の広報活動
- (2) 各種団体の会合・学校・研修会等への講師派遣
- (3) 多重債務者相談

## 令和2年7月豪雨への対応

- 熊本県を中心に九州南部で大きな被害を出した令和2年7月豪雨被災地への、**オール九州財務局**としての**各部横断的**な支援対応。

### 概要

#### ①利用可能な国有財産の情報提供・無償使用許可（管財部）

- ▶発災直後より各県に対し、未利用地、宿舍、無償貸付財産（公園緑地）のリスト持参等を実施。

#### ②災害査定立会の早期開始、「金融上の措置」発出（理財部）

- ▶鹿児島県（7/31）、熊本県（8/4）
- ▶局一丸となって対応、必要に応じ他局応援を要請
- ▶地域金融機関等に金融上の措置を適切に講ずるよう要請（7/4）

#### ③「副業でみんながつながる熊本・球磨復興プロジェクト」の後援（総務部）

- ▶令和2年7月豪雨により被害を受けた地域の復旧活動を行う人手不足解消と就業機会創出のためのプロジェクトを後援。
- ▶球磨川流域の大水害被災地域において、熊本の民間の非営利の組織体が連携して実施主体となる。
- ▶コロナ禍や今般の水害により休失業を余儀なくされている方々を中心とした熊本住民に、1日5,000円の日当を支払い、復旧作業を支援していただく取組み。
- ▶資金は公益系財団、企業、個人からの寄附で賄う。

### 取組の成果

- ①合同宿舍人吉住宅等を7月に計**5戸**提供し、被災者の生活再建を支援。



- ②12月末までに**498班**（うち管内応援**273班**、他局応援**58班**）を編成し、早期復旧に尽力。



- ③2020.8.24からプロジェクトが開始され、2020.10.16までに、**約500万円**の寄付金が集まり、球磨村地区で延べ**414人**、坂本市坂本地区で延べ**388人**が参加した。



8.21° 〇ヱ外発表

（於：熊本地方合同庁舎）



9.9 現場

（吉本興業HD所属「住みます芸人」も参加）

#### プロジェクト参加者の声

（インスタグラム・twitterなど）  
●経済的に困窮している方が多い中、補完的な収入が得られるので、喜んでおります。

●今回3回目の参加。女性でも出来るゴミ仕分けや掃き掃除などの作業もあったので良かったです。

# 副業・兼業セミナーを開催【大分(2020.12.1)・鹿児島(2020.12.15)】

- ・ 人手・人材 (後継人材)不足を解消し、関係人口の創出・拡大にも寄与する新たなソリューションとしての都会の副業・兼業人材の活用事例(※)を発信し、その機会を提供するもの。

※政府が閣議決定した「関係人口、副業・兼業」施策として、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「週末の地方での副業・兼業」や「副業・兼業人材の知識・知見を複数の地域で広く共有・活用する」等の重要性が示されており、この主旨のもと、九州財務局では以下の取組みを実施。

## 概要

- ▶ **人材**を複数の職場で「**シェア**」するという発想のもと、都会の **サラリーパーソン**を副業人材として活用する「**新しいソリューション**」を地域に紹介。
- ▶ 「都会の若者を副業人材として活用している事業者」、 「副業人材として企業を支援しているサラリーパーソン」、 「事業者とサラリーパーソンをつなぐ役割に取り組む地方公共団体・金融機関」の3者の実体験を共有するセミナーを実施。



- ▶ 九州財務局が主催した2020年1月と2月の**セミナーがきっかけで、副業人材の活用に踏み切った**KDS (熊本) の永田代表と、キグルミビズ (宮崎) の加納代表は、大分・鹿児島両セミナーで、自社における**副業人材の活用事例**を登壇者として紹介。
- ▶ **コロナ禍の感染対策**を講じるため、会場の人数は制限し、**WEBでの参加も可能**とする方式を採用

## 取組の成果

- **コロナ禍で会場参加型での開催が制約される中、オンライン参加により、より多くの人の参加が可能に。**  
 【大分会場 : 110名 **オンライン: 140名**】  
 【鹿児島会場 : 110名 **オンライン: 160名**】
- **セミナーを契機とした主な動き**  
**副業の支援は、個々の企業ベースにとどまらず、金融機関や地方自治体を巻き込んだ「官民財金連携」の大きなうねりを生んだ。**

自治体ベースの取組の開始と進化

- ・ 2020.3.9 八代市「副業人材活用プロジェクト」
- ・ 2020.12.17 延岡市「地域貢献副業人材プロジェクト」
- ・ 2021.1.19 八代市、人吉市、芦北町「熊本がまだす！副業プロジェクト」



(八代市)



(延岡市)

## 地方公共団体と合同勉強会を開催

- 地方公共団体と、地域の実状やニーズについて対話したことをきっかけとして、宮崎財務事務所職員と町職員による合同勉強会を開催。勉強会を通じて、当事務所が持つ参考情報やノウハウを共有。

### 概要

・綾町及び高原町と、地域の実状やニーズについて対話したことをきっかけとして、宮崎財務事務所では、所長直轄のプロジェクトチームを結成し、事務所としてできる連携活動を実施。具体的には、テーマ毎に町との合同勉強会や現地勉強会を開催し、ノウハウ等の情報共有を行った。

■「**財政**」については、町の財政分析資料や他市町村の収支改善事例を共有するとともに意見交換を実施。

■「**遊休資産の売却**」については、宮崎財務事務所が有する国有財産の売却ノウハウや他自治体の優良事例を提供したほか、町職員とともに町有資産の現地調査を行い売却に向けたアドバイスを行った。



役場にて熱い議論を交わす町職員と当事務所の職員

### 取組の成果

- 勉強会における意見交換を通じて、当町の課題認識や改革の方向性等について深く理解することができた。
- 勉強会后、町の参加者からは「本日の内容は有用であった。今後も必要に応じて意見交換会をお願いしたい。」との声が聞かれた。

### ～当局の周知による 「企業版ふるさと納税」の広がり～

当局の周知活動もあり、令和2年7月豪雨の被災自治体をはじめとした管内地方自治体の財源確保の一助となっております。



八代市と(株)イズミ

# ケーブルテレビを活用したコロナ禍における広報の取組み

- ケーブルテレビを活用した広報の新たな展開を模索。

## 概要

- 熊本県内市町村の多重債務相談窓口への巡回訪問時に高森町からケーブルテレビの番組制作へ協力依頼があり、初の試みで実施したもの。
- 同町では、町民向けの情報番組を提供しており、空いた番組枠を活用したものである。



## 取組の成果

- 対面ではなく、かつ多くの住民に向けて広報が可能となり、コロナ禍のなか、時機を得た取組みとなっている。
- 今回は、①財務局の紹介、②多重債務相談窓口の取組みの紹介、③金融トラブル防止、④振り込み詐欺被害防止の4コマについて収録・放映。（1コマ当たり 15分程度）

## 【今後の展開】

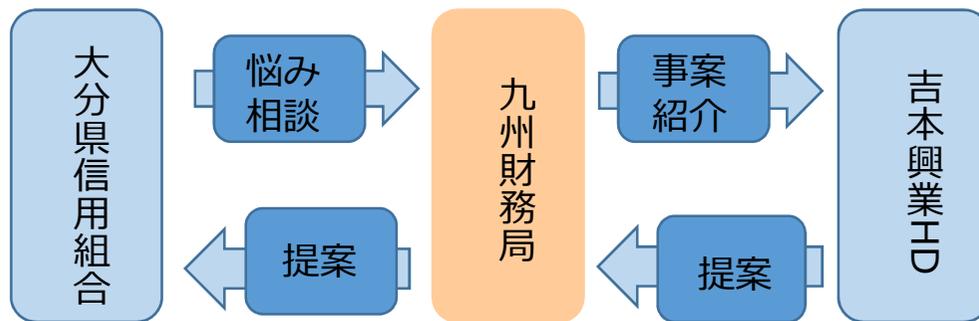
- 今後も可能な限り新たな情報を提供し、同町住民向けに広報活動を継続予定。
- 熊本県内の他市町村が運営するケーブルテレビへの展開を検討していく。
- 短時間放映であり、広報内容の充実が課題。

## コロナ禍におけるつなぎ役としての地域課題への対応

- 九州財務局が大分県信用組合と吉本興業ホールディングス（HD）の**住みます芸人**をつないで、同組合における**営業スキル向上研修**の実現にこぎつけた事例
- 設立地（国有地）の無償貸し付けを行っているKKRホテル熊本の空き部屋の有効活用を提案し、**ワーケーション施設**としての活用や**貸倉庫**としての活用の実現にこぎつけた事例

### 概要

事案①：withコロナ時代の新しい営業手法について悩みを抱えていた**大分県信用組合**と営業話法に強みがある**吉本興業HD**を“つなぐ”役割を九州財務局が果たす。



事案②：コロナ禍による**施設の遊休化**に悩む**KKRホテル熊本**に対して、設立地の無償貸付を行っている九州財務局が**解決法を提案**。



### 取組の成果

事案①：2020年10月23日、「**ロールプレイング研修会**」を実施

2020年11月20日  
**包括連携協定締結**



締結式進行役の“住みます芸人”野良いざや（左）  
同所属芸人と組合職員による研修会の模様（右）

2021年1月8日、**営業スキル向上**のための「**お笑いビジネス研修**」開催

事案②：2020年12月、施設の一部を都会の若いサラリーマンのための**ワーケーション施設**として提供。

2021年3月、熊本地方労働局の書類倉庫として提供を開始。



ワーケーション用に  
開放された  
施設  
(←)



貸倉庫用  
に活用され  
る施設  
(←)